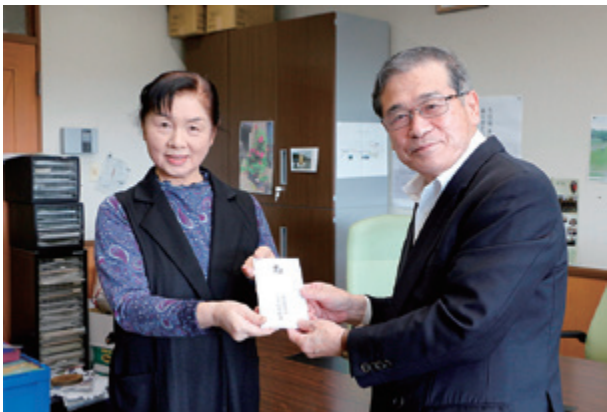


村への寄付をいただきました 亡きご主人の思いと共に



村長室にて寄付の目録を北原さん（左）から受け取る菅野前村長。「大切にに使わせていただきます」

10月14日、北原スミ子さん（草野）から、村に100万円の寄付をいただきました。

この寄付は今年9月に亡くなった夫の藤夫さんの遺志に基づくものだそうです。北原さんが経営する燃料店「北原商店」は、震災直後の混乱期や、長期化した全村避難の間もガソリンスタンドの営業を続け、村の復興にも貢献してきました。藤夫さんは生前、「スクールバスの給油などで、村には長い間お世話になった。感謝を形にして、恩返しをしてほしい」と語っていたそうです。

飯館村消防団 秋季検閲式 飯館分署前で実施



検閲官を務める菅野前村長を先頭に団の幹部や来賓が続きました。姿勢を正し検閲を受ける団員の皆さん

10月4日、南相馬消防署飯館分署前で、飯館村消防団の秋季検閲式が行われました。式には、団員及び女性消防隊、役場消防隊の合わせて97人が出席しました。

検閲式では、赤石澤傳団長（飯樋町）が、団員の貢献に感謝を伝え、「自分達の村は自分達で守る」消防団として、防火・防災にいっそう努めていくことを呼びかけました。

団員の皆さんは、検閲官や来賓を前に、機敏な動作で隊列を整え、検閲に臨みました。

solar SPV合同会社と 協力協定を結びました



協定書に署名し写真撮影に応じるsolarSPV合同会社職務執行者・齋藤稔さん（左）と菅野前村長

10月15日、村は、「solarSPV合同会社」と協力協定を結びました。同社は、エネルギー環境分野に実績を持つ企業グループの出資で設立されました。復興整備計画の承認を受け、関根地区に太陽光発電所を建設します。

計画では、令和3年10月頃からの発電開始を見込んでいます。運用期間は20年間で、協定に基づき、売電収入の一部を村に寄付する他、企業のネットワークを活用して、村の農産物のPRにも協力します。

サポートセンターつながっぺで 「食を考える会」の栄養教室



初回の様子。左は低栄養の予防に活用されるランチョンマット

サポートセンター「つながっぺ」で、栄養教室が開かれました。講師を務めたのは、「飯館村食を考える会」の皆さんです。

初回となった10月7日は、田村紀恵子さん（二枚橋・須萱）と、古川恵美子さん（小宮）が講師を務めました。今回の栄養教室では、つながっぺ利用者の皆さんに、普段の食事で大切にしたいポイントを伝えました。利用者の皆さんは、講師の質問をきっかけに、普段の食事の様子、自分の定番メニュー、工夫していることなどを伝え合い、対話も楽しんでいました。

飯館村防犯指導隊が 地域防災キャンペーンを実施



「詐欺被害が増加しています。気をつけてください」と声をかけながら一人ひとりに手渡しました

10月16日、飯館村防犯指導隊（渡邊富士男隊長／飯樋町）が、南相馬警察署・南相馬地区防犯協会連合会と協力して、地域防災キャンペーンを実施しました。隊員の皆さんは、「いいいて村の道の駅までい館」で、利用者に防犯チラシや啓発グッズを配布。詐欺被害などにいっそう注意するよう呼びかけました。防犯チラシは、新型コロナウイルスに便乗した詐欺や悪質商法、還付金詐欺、架空請求詐欺など、言葉巧みに不安をあおる詐欺の手口を分かりやすく伝えています。

海野先生 長年のお力添えを ありがとうございました



村の教育発展への功績をたたえる感謝状と、花束が贈られました。海野先生（左）と菅野前村長

飯館村教育アドバイザー・飯館村教育委員会学校教育指導員などを歴任し、15年以上にわたり村の教育行政にご提言をいただいていた海野和夫先生に対し、村は10月9日、感謝状を贈りました。

贈呈式は、総合教育会議の中で行われました。海野先生は、「意味のある仕事をさせていただき、私の方こそ感謝をしています」とあいさつし、「これからも、保護者にも子どもにも満足のいく素晴らしい教育を進めてください」と関係者一同を励まされました。